市政懇談会

留萌百年物語

先人が築いてきた「ふるさと留萌」に想いを馳せながら、市民の皆さんとともに未来を担う子どもたちに引き継ぐまちづくりを進めます。

市政懇談会の概要

今回の市政懇談会では、市民の皆さんとより一層の情報共有を図り、将来のまちのビジョンを創り上げていくため、財政健全化計画の取り組み状況、市立病院の改革プランの実施状況、今後の道路整備の考え方などを報告し、地域の課題も含めて意見交換を行いました。

■開催状況

開催日	時間	会場	参加人数
6月10日（木）	19:00～20:30	総合福祉センター	１５名
6月11日（金）	18:30～20:00	港南コミュニティセンター	６名
6月16日（水）		東部コミュニティセンター	１８名
6月17日（木）		幌糠コミュニティセンター	１１名
6月18日（金）		港北コミュニティセンター	１９名
6月19日（土）	10:00～11:30	港西コミュニティセンター	１０名
	13:30～15:00	港東コミュニティセンター	２１名
合計		７会場	１００名

先人の想いを受け継ぎ明るい未来を創造

明治43年、留萌の港づくりが始まり、留萌駅ができて、留萌のまちづくりが大きく動き始めてから今年で百年の節目を迎えました。先人が築いてきた歴史に学びながら、五十年後、百年後を見据えて、皆さんと協働のもとに将来のまちのビジョンを創り上げていきます。

これからは、それぞれのまちが自立した自治体経営を行う地域主権の時代です。企業誘致は難しく、政策転換を図り、今ある商店街や地場の企業を振興して雇用を確保するなど、新たな成長戦略に取り組みます。

市民の皆さんとの意見交換の一部を紹介します

財政健全化計画の取り組み状況

質問「実質公債費比率が平成23、24年度に早期健全化団体のラインである25％に限りなく近づくため、不安を感じている」

回答「今は毎年の借金の上限を決めて確実に返済しているが、この比率を出す分母になる国の交付税などに流動的な要素があるので、比率が25％を越えないよう、引き続き新規の借金を抑えながら、さらに比率の上昇が出てきそうな場合には借金の繰り上げ返済などを行い、なるべく早期健全化団体のラインを上回らないような形で進めていきたい」

質問「市の財政は本当に大変だと思うが、7年間で赤字を解消するという市長の言葉を信用している。計画に近い数字を出すことを肝に銘じて、頑張っていただきたい」

回答「財政再建7年というのは、市民や職員との間の約束であり、肝に銘じてこの財政再建をやり遂げ、若者たちが希望を持って子育てをできるようなまちづくりを心がけていきたい」

市立病院改革プラン2年目に向けて

質問「病院改革プランで大幅な改善がなされ、平成21年度は単年度実質収支が6千万円の赤字で済んだということで評価しているが、目標は収支均衡であったはず。医師や看護師など医療スタッフが確保されなければ計画が根本から狂ってしまうと思うが、現状はどうか」

回答「平成21年度は、予定していた医師の確保が遅れたために収支均衡は実現しなかった。平成22年度の計画は、現実的な数字で見積もっているので、収支を確保できる見通しだ。笹川院長も総合医を自らの手で育てることにも努めており、循環器や脳外科の先生も揃ってきているので、引き続き地域の皆さんにしっかりとした医療を提供できる体制づくりに向けて努力する」

これからの道路整備

質問「広報6月号を読み、見晴通を整備することが決定しているような印象を受けたが、地元新聞には市民に説明し、市民の直接の声を聞きながら理解に向けた努力を重ねていきたいという記事が掲載されていた。一歩後退したように感じるが、どうなのか」

回答「見晴通は、市民全体が活用する必要な道路だと思っているが、整備のためには立ち退きが必要となることから、地域の皆さんから理解をいただかなければ進めるわけにはいかない。整備をするかしないか現時点で発言できないが、地域の皆さんの意見をお聞きしながらできるだけ早く結論を出したい」

質問「南九条橋が工事により通行止めになった際には、東橋に迂回した。除雪はされていたものの、大型車が対向したときに事故になりそうになっていた。南九条橋が通行止めになると東橋の交通量が増えるので、歩行者の安全にも配慮し、歩道も含めてしっかりと除雪してほしい」

回答「そのような状況は把握しており、大型車を使用する会社に協力を求めて対応してきた。今冬も南九条橋が工事により通行止めとなるので、大型車の通行制限や排雪回数を増やすなども含めて検討したい」

その他

質問「人口も減っているのだから、議員定数を見直すべきではないか。議員の給料を減らすのではなく人数を減らして、市のために頑張っていただきたい」

回答「議員定数が16人というのは、道内の市では最も少ない。留萌市の議員定数や報酬の削減は先駆的に取り組んできたと思っている。しかし、これからの人口動態を考えると議会でも色々と議論されていくと思う」

市政懇談会に関するお問い合わせは
市・企画調整課
☎42・1809